

名張市EMS・名張市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)における平成26年度の実績について

平成26年度に市の事務事業で使用したエネルギー使用量・温室効果ガス排出量を算定しました。基準年度(平成24年度)実績に対し、温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)が0.8%減少する結果となりました。

目標と達成状況	基準年度		3%削減	
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	13,377 t-CO ₂	13,408 t-CO ₂	13,262 t-CO ₂	12,975 t-CO ₂
基準年度からの削減率		0.2%増	0.8%減	目標値

年度別・項目別実績

【温室効果ガス種類別排出量(二酸化炭素換算)】 (単位: kg-CO₂)

温室効果ガス	平成24年度	平成25年度	平成26年度
二酸化炭素 (CO ₂)	13,367,441	13,398,190	13,252,117
メタン (CH ₄)	295	299	301
一酸化二窒素 (N ₂ O)	7,483	7,555	7,787
ハイドロフルオロカーボン (HFC)	1,872	1,807	1,885
合計	0	13,407,851	13,262,090
基準年度からの削減率		0.2%の増加	0.8%の減少

【活動別温室効果ガス排出量(二酸化炭素換算)】

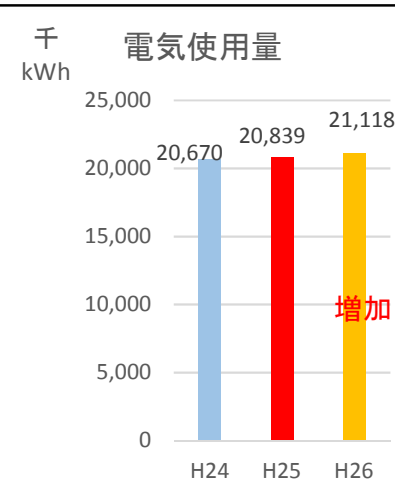
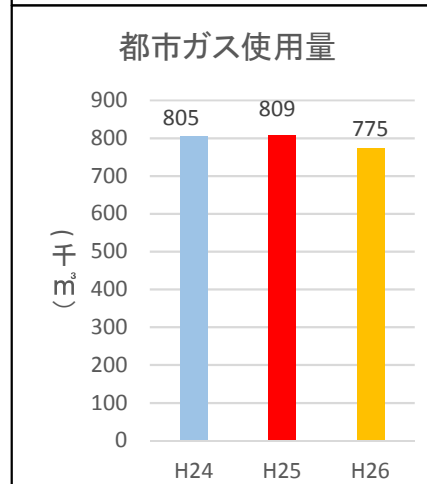
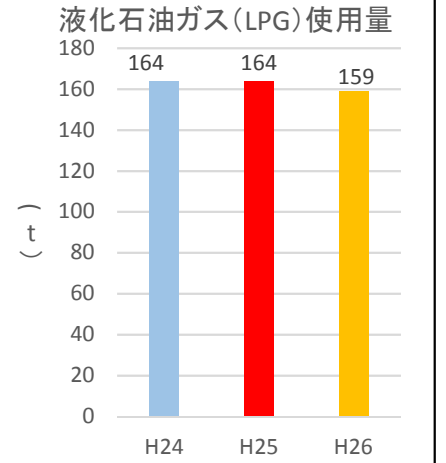
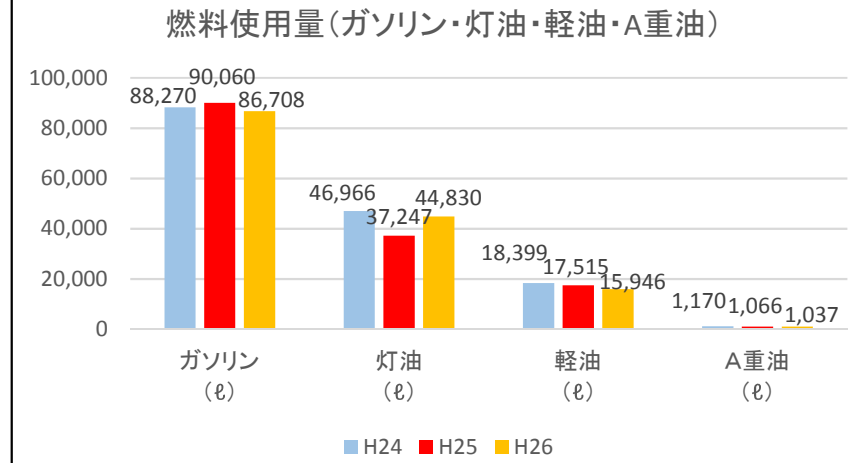
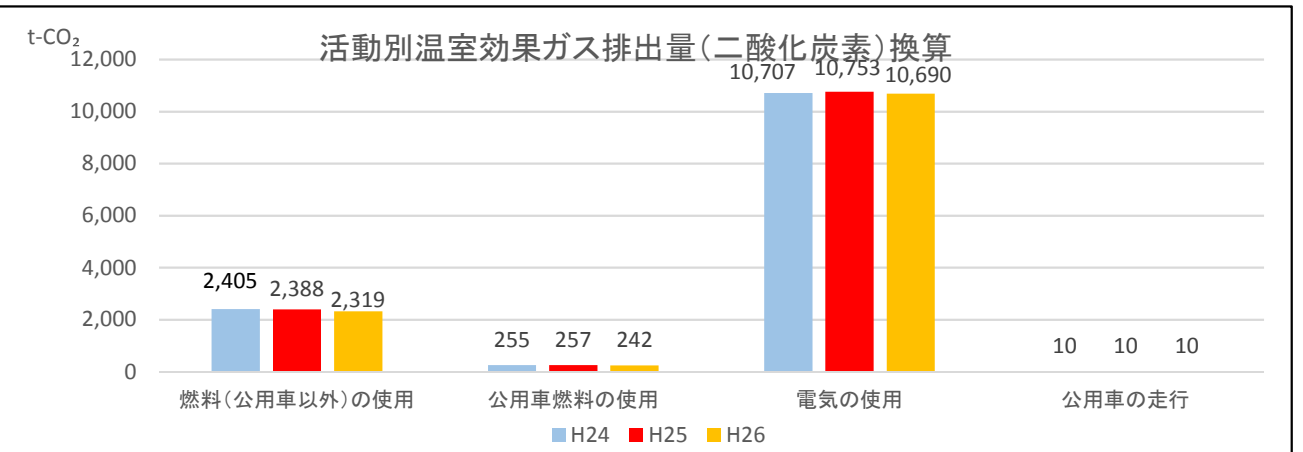
温室効果ガスを排出する活動項目	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	CO ₂ 排出量 (kg-co ₂)	排出割合 (%)	CO ₂ 排出量 (kg-co ₂)	排出割合 (%)	CO ₂ 排出量 (kg-co ₂)	排出割合 (%)
燃料(公用車以外)の使用	2,405,198	18.0	2,388,084	17.8	2,319,461	17.5
公用車燃料の使用	255,321	1.9	257,086	1.9	242,302	1.8
電気の使用	10,706,922	80.0	10,753,020	80.2	10,690,354	80.6
公用車の走行	9,651	0.1	9,661	0.1	9,974	0.1
合計	13,377,092	100.0	13,407,851	100.0	13,262,091	100.0

【参考:燃料(公用車燃料含む)の使用・電気の使用】

項目	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-co ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-co ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-co ₂)
ガソリン (ℓ)	88,270	204,786	90,060	208,939	86,708	201,162
灯油 (ℓ)	46,966	116,945	37,247	92,745	44,830	111,626
軽油 (ℓ)	18,399	47,469	17,515	45,189	15,946	41,140
A重油 (ℓ)	1,170	3,170	1,066	2,889	1,037	2,810
液化石油ガス(LPG) (kg)	164,131	492,393	163,905	491,715	159,030	477,090
都市ガス (m ³)	805,272	1,795,756	808,831	1,803,693	774,859	1,727,935
電気の使用 (kWh)	20,669,735	10,706,922	20,839,185	10,753,020	21,118,008	10,690,354
計	—	13,367,441	—	13,398,190	—	13,252,117

【参考:公用車の走行・カーエアコンの使用】

項目	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	走行距離 (km)	CO ₂ 排出量 (kg-co ₂)	走行距離 (km)	CO ₂ 排出量 (kg-co ₂)	走行距離 (km)	CO ₂ 排出量 (kg-co ₂)
ガソリン・LPガス車	873,586	7,391	878,904	7,437	919,500	7,684
ディーゼル車	56,676	388	60,007	417	62,484	404
カーエアコンの使用	—	1,872	—	1,807	—	1,885
計	—	9,651	—	9,661	—	9,974



【参考】省エネ法に基づき算定するCO₂排出量 (t-CO₂)

年度	総量	1m ² あたりの排出量
24	12,004	0.06471
25	12,048	0.06421
26	12,789	0.06643
27		

内部検証

●燃料使用量は、基準年度(平成24年度)に比べ、継続的に省エネに取り組むことにより削減することができました。電気使用量については、クールビズ・ウォームビズ、節電などに取り組みましたが、事業推進及び事業拡大に伴い使用量が増加しました。今後も省エネ行動に取り組む更なる削減を目指しますが、長期にわたり取り組んできたため、削減が下げ止まり傾向にあることが課題となっています。機器更新時の省エネ機器の導入、高効率照明の導入など、温室効果ガス削減に向けて取組の強化を図る必要があります。

●電気使用に伴うCO₂排出量の減少について(※)
電気使用量が増加した一方で、CO₂排出量が減少しました。市の施設の一部で、電力の購入先を電力会社から特定規模電気事業者へ切り替えたことにより、CO₂排出係数が下がり算定したCO₂排出量が減少したものです。